

令和4年度 学校経営方針

ローマ日本人学校

1 学校教育目標

『夢や目標をもち、人間性豊かで、たくましく国際社会に生きる日本人の育成』

2 めざす児童・生徒像

- (1) 礼儀正しく、気持ちのよいあいさつができる子
- (2) 自ら進んで取り組み、課題を解決できる子
- (3) 心身ともに健康でたくましい子
- (4) 世界に目をひらく子

3 児童・生徒につけたい力

- (1) 何を理解しているか、何ができるか
(実際の社会や生活で生きて働く「知識・技能」の習得)
- (2) 理解していること、できることをどう使うか
(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)
- (3) どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか
(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)

4 めざす教師像

- (1) 児童・生徒への愛情、情熱を持ち続ける教師
- (2) 専門性を高め、学び続ける教師
- (3) 役割を自覚し、創造的なアイデアを生み出す教師

5 本年度の具体的な取組

- (1) 夢や目標をもち、自立して未来に挑戦する児童・生徒の「生きる力」の育成
 - ・すべての児童生徒の可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化に向けて取り組む。
 - ・ローマでしかできない体験を含め、自然体験や交流体験など多様な体験活動を実施し、人や社会と自分とのかかわりを認識させる。
- (2) 一人一人の主体的な学びを高める授業を創造し、確かな学力の育成
 - ・児童・生徒が「わかった・できた」と実感できる、主体的・対話的な深い学びの実現に向けた授業を行う。
 - ・各教科で、「考えを深める」「発表する」「書く」等の言語活動を充実する。
 - ・情報機器を有効活用し、視覚支援を含めて、きめ細やかな指導を行う。

- (3) 安全で潤いのある学校環境づくりを推進し、心と体の健康の推進
- ・学校の新しい生活様式の確立と新型コロナウイルス感染防止対策の徹底
 - ・安全な生活習慣や態度を身につけ、危険予測・危険回避能力を高める安全教育を教育活動全体で行う。
 - ・様々な学習活動や異年齢児童生徒のふれあいを通して人権感覚を身につけ、互いの良さや個性を認め合う人権教育・道徳教育を行う。
 - ・体育の授業や遊びを通して、体力や運動能力の状況を把握させ、自主的・意欲的に体力を向上させる態度を育てる。
- (4) 国際性豊かなグローバル人材の育成
- ・現地校やインター校等との国際交流活動の充実を図る。
 - ・発達段階に応じて、イタリア語や英会話によるコミュニケーション能力の育成を図る。
 - ・外国の文化を大切にする心をもつとともに、日本の伝統文化を理解し、日本人としての自覚をもたせる。
- (5) 保護者・学校運営委員会・学校教育協会、日本人会等関係機関との連携
- ・学校運営委員会を基盤に、学校と保護者が一体となった学校運営や効果的な教育活動を行い、社会に開かれた教育課程を展開する。
 - ・学校便り、ホームページ等を通して積極的に教育活動を発信し、保護者や日本人会に信頼される学校づくりに努める。